YAMAHA

ライティングオーディオシステム

LSX-170

取扱説明書

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」（16 ～19ページ）を必ずお読みください。

■製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。

■保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

保証書別添付

Made for iPod iPhone iPad

Bluetooth®

apt-X® CSR

Relit

J

目次

はじめに
付属品 ……4
本書について ……4

各部の名称
本体 ……5
リモコン ……6

準備する
「DTA CONTROLLER」をインストールする ……7
照明 / 電源をオンにする ……7

Bluetooth 接続で音楽を聴く
本機と *Bluetooth* 機器のペアリング ……8
ペアリングして音楽を再生する ……9
ペアリング済みの機器を *Bluetooth* 接続して音楽を再生する ……10
★ *Bluetooth* 接続を切断する ……10

外部機器の音楽を聴く
外部機器を接続する ……11
再生する ……11

SMART TIMER を使う
SMART TIMER を設定する ……12

故障かな？と思ったら ……13

主な仕様 ……15

安全上のご注意 ……16





上質サウンドを手軽に

シンプル操作でいつもの音も
ワンランク上に ……8、11

スマートフォンをリモコン代わりに
快適操作 ……7

音とあかりの融合

お気に入りの曲とやわらかな光
快適な朝の目覚め ……12

疲れた夜は明かりを落として音楽に耳を傾ける ……7

はじめに

付属品と、本書の見方について確認しておきましょう。

付属品



リモコン



ステッカー
（無線に関する注意）

本書について

- **操作について**
  - リモコンでの操作をメインに記載しています。
  - 本文中のiPhoneという表記はiPod touch/iPadも含みます。
- **イラストについて**
  取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。
- **マークについて**

  使用時の注意点や機能の制約が記載されています。

  知っておくと便利な補足情報が記載されています。

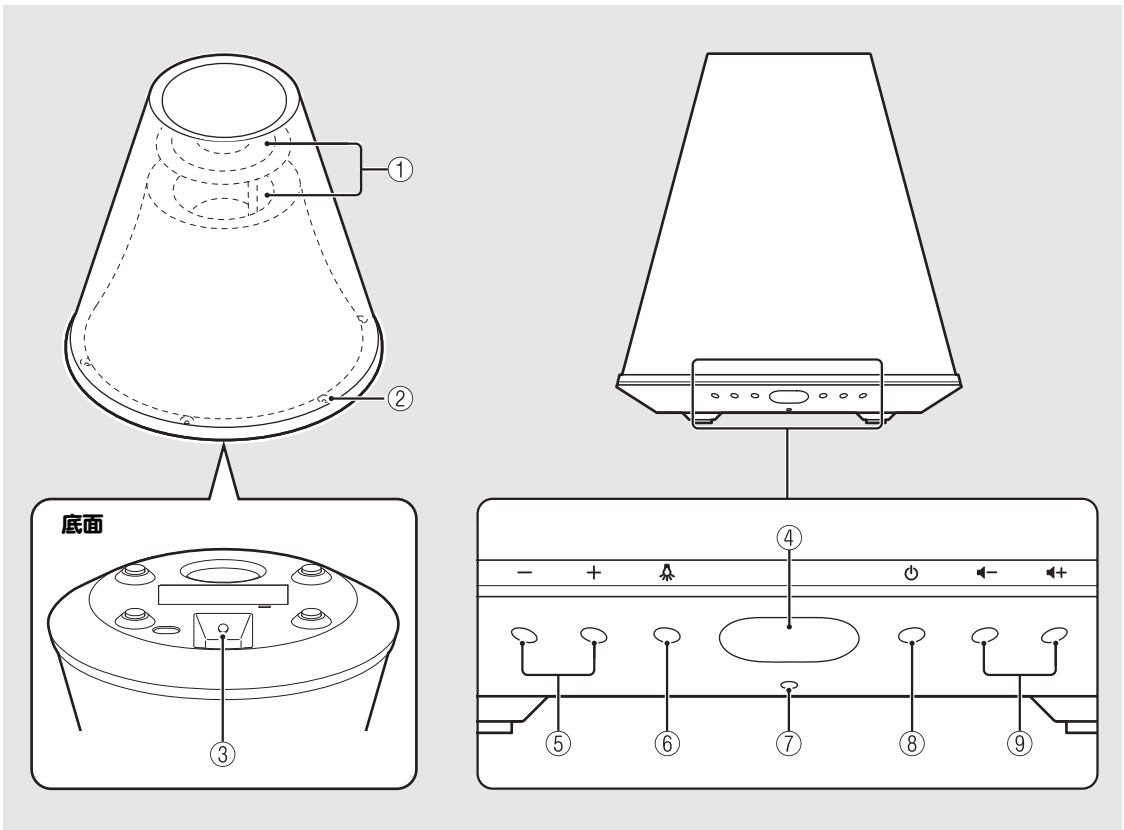
  ☞ 関連情報が記載されているページです。

音楽を楽しむエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、必要に応じて窓を閉めたりして周囲に配慮しましょう。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

各部の名称

本機の各部分の名前と機能をご確認ください。

本体



① **照明 / スピーカー**

② **照明**

③ **AUX IN**（☞ P.11）
市販の3.5mmステレオミニプラグケーブルで外部機器を接続します。

④ **リモコン信号受光部**（☞ P.6）

⑤ **照明− /+**
照明の明るさを調整します。

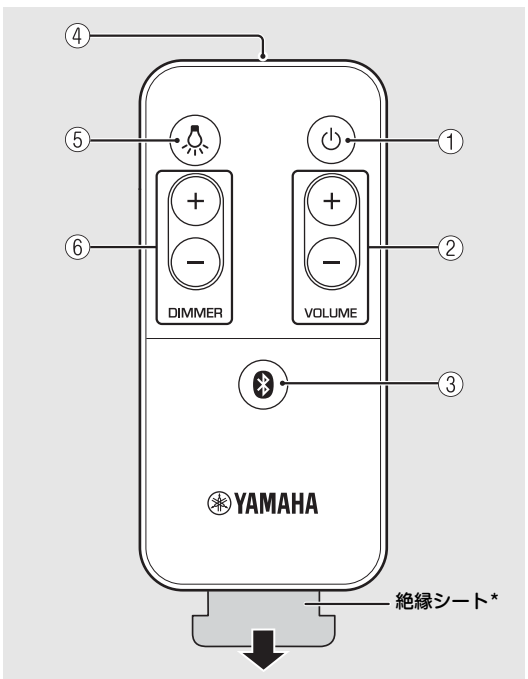
⑥ **（照明）**（☞ P.7）
照明のオン/オフを切り替えます。

⑦ **インジケーター**
本機の電源をオンにすると、点灯します。また、*Bluetooth*接続の状態が変化したときに点滅します。

⑧ **⏻（電源）**（☞ P.7）
短押し：本機の電源をオン/オフします。
長押し：*Bluetooth*機器を切断します。
電源をオンにすると起動音、電源をオフにすると終了音が再生されます。

⑨ **−/+（音量）**
音量を調整します。

リモコン



* リモコンの絶縁シートは使用前に引き抜いてください。

① (電源) (☞ P.7)
本機の電源をオン/オフします。
電源をオンにすると起動音、電源をオフにすると終了音が再生されます。

② VOLUME +/ −
音量を調整します。

③ (***Bluetooth***) (☞ P.9)
短押し：*Bluetooth*機器と接続します。
長押し：*Bluetooth*機器を切断します。
*Bluetooth*接続すると接続音、*Bluetooth*接続を切断すると切断音が再生されます。

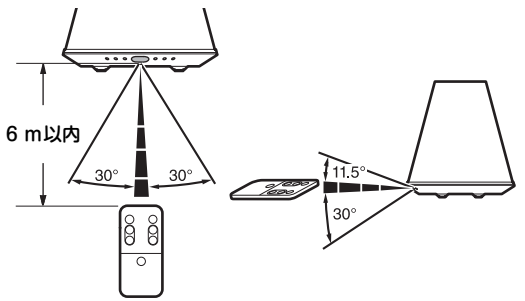
④ リモコン信号送信部

⑤ (照明) (☞ P.7)
照明のオン/オフを切り替えます。

⑥ DIMMER (ディマー) +/ − (☞ P.7)
照明の明るさを調整します。

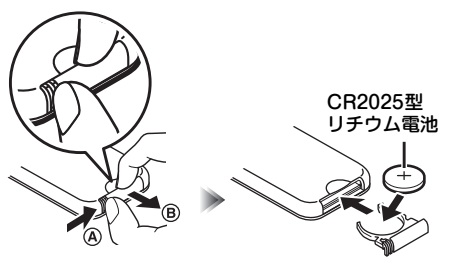
リモコンで操作する

リモコン信号受光部に向けて使用してください。



リモコンの電池を交換する

- 電池の＋を確認し、正しい向きでリモコンに入れてください。
- Ⓐの方向にツマミを押しこみながら、電池ケースをⒷの方向に引き出してください。



準備する

ヤマハのアプリ「DTA CONTROLLER」をインストールし、本機の電源を入れます。

「DTA CONTROLLER」をインストールする

「DTA CONTROLLER」はスマートフォン/タブレット用コントロールアプリです。お使いのスマートフォンやタブレットにインストールすると、ヤマハのデスクトップオーディオ製品をより便利に使用できます。

主な機能

- 電源オン/オフ、音量の調節
- 照明オン/オフ、明るさの調節
- SMART TIMERの設定（☞ P.12）
- スマートフォンやタブレット内の音楽を再生

本機とお使いの端末を*Bluetooth*で接続することが必要です（☞ P.8）。

Available on the App Store

http://itunes.com/app/dtacontroller

Google Play™

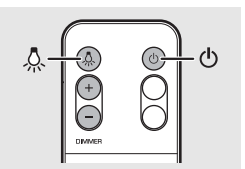
https://play.google.com/store/apps/details?id=com.yamaha.av.dtacontroller

アクセスできない場合は、App StoreまたはGoogle Playで「DTA CONTROLLER」を検索してください。

照明/電源をオンにする

1 **電源コードをコンセントに挿す。**

2 • **を押して照明をオンにする。**



- 本機の電源がオフの場合でも、照明はオン / オフできます。
- リモコンの**DIMMER** +/- ボタンを押すと、明るさを10段階まで調整できます。

• **を押して電源をオンにする。**

- 電源をオンにすると起動音が鳴り、音楽を再生できます。

オートスタンバイ機能について

- オートスタンバイ機能によって、本機は以下の通り動作します（初期設定）。
  - *Bluetooth*接続、またはAUX INへの接続がないまま何も操作しない状態が20分以上続くと、本機の電源は自動的にオフになります。
  - 何も操作しない状態が8時間以上続くと、本機の電源はオフになります。

オートスタンバイを起動/解除する

1 本体の を押して照明をオンにする。

2 を10秒以上長押しする。

- オートスタンバイが切替わり、照明（☞ P.5）が点滅します。
  - **オートスタンバイ起動時**：照明が3回点滅
  - **オートスタンバイ解除時**：照明が1回点滅

通知音のオン/オフを切り替える

- 通知音（起動音/終了音、*Bluetooth*接続音、音量の最大/最少の通知音）のオン/オフを切り替えたいときは、本機の電源オフ時に、を押しながらを押して電源をオンにしてください。
  - **通知音をオフからオンに切り替えた場合**：起動音が鳴ります。
  - **通知音をオンからオフに切り替えた場合**：起動音が鳴りません。

*Bluetooth*接続で音楽を聴く

ブルートゥース
*Bluetooth*に対応した機器の音楽を簡単にワイヤレスで楽しめます。

本機と*Bluetooth*機器のペアリング

本機とはじめて*Bluetooth*接続するときは、*Bluetooth*機器（接続機器）を本機に登録します。これを「ペアリング」といいます。
一度ペアリングが完了すると、*Bluetooth*接続を切断してもそれ以降は簡単に再接続できます。

初めて接続する *Bluetooth*機器	本機とペアリング済みの *Bluetooth*機器
↓	↓
ペアリングし、音楽を再生する（☞ P.9）	*Bluetooth*接続し、音楽を再生する（☞ P.10）

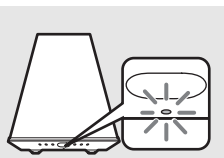


- 接続機器のペアリング情報が削除された場合には、再度本機とペアリングを行う必要があります。

ペアリングして音楽を再生する

iPhoneの場合

1 ⏻を押して電源をオンにする（☞ P.7）。
- インジケーターが橙色に点灯します。



2 iPhoneで「設定」、「*Bluetooth*」をタップし、*Bluetooth*機能をオンにする。

3 「デバイス」の接続リストから「LSX-170 Yamaha」を選ぶ。
- ペアリング完了後、*Bluetooth*接続するとインジケーター（☞ P.5）が青色に点滅し、*Bluetooth*接続音が再生されます。

4 iPhoneで音楽を再生する。

- 本機が他の接続機器と接続している場合は、⏻を長押しして*Bluetooth*接続を切断してからペアリングを行ってください。
- ペアリングの設定方法は、お使いのiPhoneやバージョンによって異なる場合があります。

iPhone以外の場合

1 ⏻を押して電源をオンにする（☞ P.7）。
- インジケーターが橙色に点灯します。



2 お使いの機器の*Bluetooth*機能をオンにする。

3 お使いの機器の*Bluetooth*設定で「LSX-170 Yamaha」を選ぶ。
- ペアリング完了後、*Bluetooth*接続するとインジケーター（☞ P.5）が青色に点滅し、*Bluetooth*接続音が再生されます。
- ペアリング完了後、お使いの機器が本機と自動的に接続しない場合は、機器の*Bluetooth*設定でもう一度「LSX-170 Yamaha」を選んでください。
- 詳細は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

4 お使いの機器で音楽を再生する。

- 本機が他の接続機器と接続している場合は、⏻を長押しして*Bluetooth*接続を切断してからペアリングを行ってください。
- ペアリング中にパスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力してください。

ペアリング済みの機器を*Bluetooth*接続して音楽を再生する

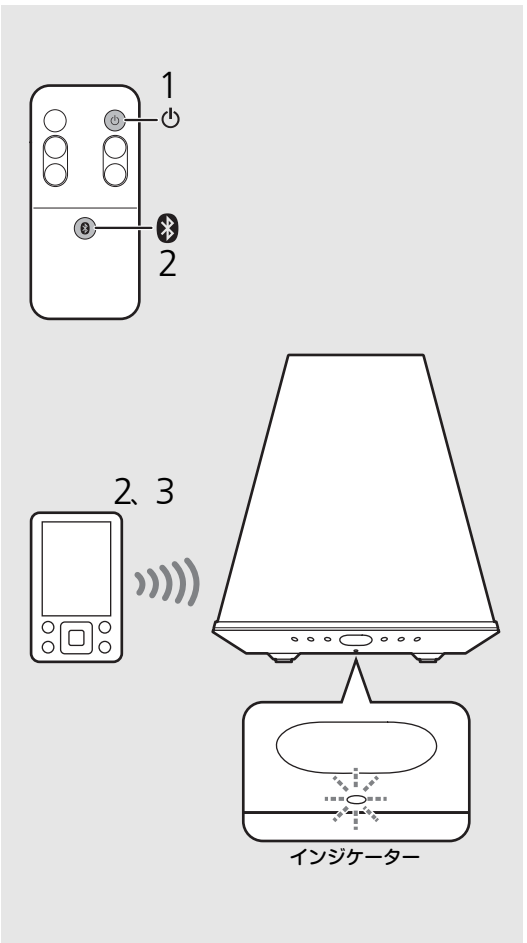
他の機器と*Bluetooth*接続している場合は、切断してから*Bluetooth*接続をしてください（右の「*Bluetooth*接続を切断する」を参照）。

1 ⏻を押して電源をオンにする。

2 接続操作をする。

- **本機から接続する場合**：Ⓑを押します。
- **接続機器から接続する場合**：
  接続機器の*Bluetooth*設定をオンにし、「LSX-170 Yamaha」を選びます。
- 接続するとインジケーターが青色に点滅し、*Bluetooth*接続音が再生されます。

3 接続機器で音楽を再生する。



- **再生前に本機の音量を十分に下げてください。**大音量で再生が始まることがあります。

- 本機から接続する場合は、最後に接続した機器を探して接続します（接続機器側は*Bluetooth*設定をオンにしておく必要があります）。

*Bluetooth*接続を切断する

- *Bluetooth*接続は、以下のいずれかの方法で切断することができます。
  - 接続機器の*Bluetooth*設定をオフにする。
  - 本体の⏻を長押しする。
  - Ⓑを長押しする。
- 切断するとインジケーターが青色に点滅し、*Bluetooth*切断音が再生されます。

Music Enhancer（ミュージックエンハンサー）機能

本機は、*Bluetooth*接続による圧縮デジタル音声で失われた音を補完し、よりよい音で音楽を楽しめる「Music Enhancer」機能を搭載しています。

外部機器の音楽を聴く

AUX INに外部機器を接続して音楽を楽しむことができます。接続には市販の3.5mmステレオミニプラグケーブルをお使いください。**外部機器の接続は、⏻を押して本機の電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。**

外部機器を接続する

1 テーブルの上に柔らかい布などを敷いて本体を逆さまにする。

2 ケーブルを本体のAUX INに挿す。

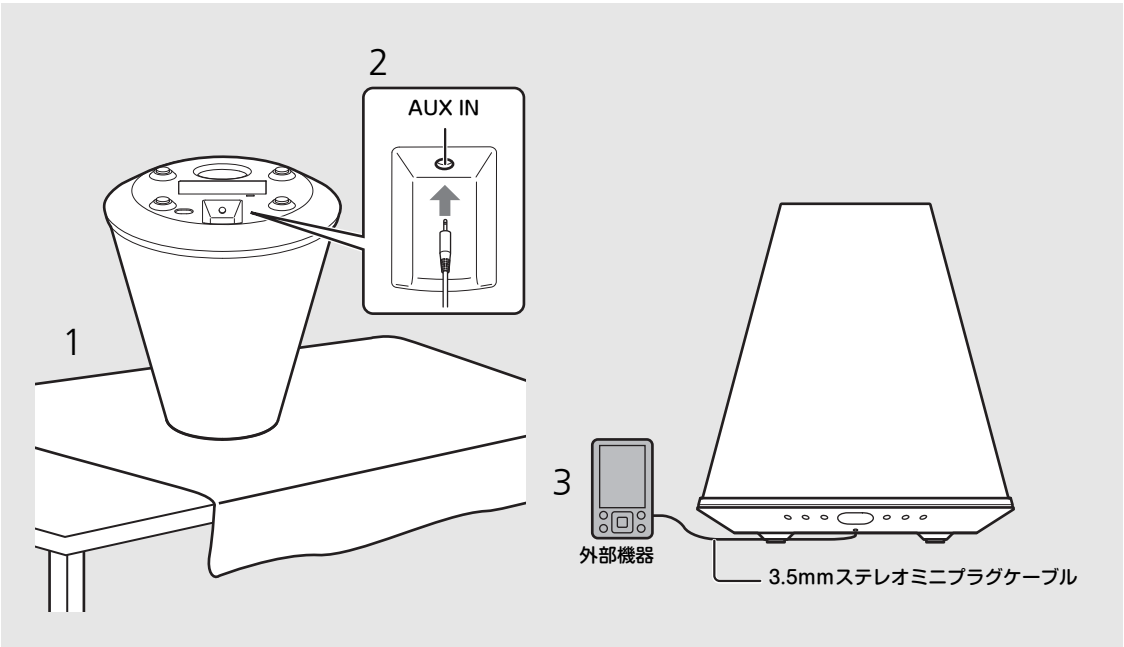
3 ケーブルのもう一方のプラグを外部機器に接続する。

再生する

1 ⏻を押して電源をオンにする。

2 外部機器を再生する。

- 再生については、外部機器の取扱説明書をご覧ください。



- 外部機器を再生する前に、本機と外部機器の音量を十分に下げてください。
- 本体を逆さまにする際は、本体が倒れないようにしっかり安定させてください。

- *Bluetooth*機器と外部機器両方を同時再生すると、両方の音声が出力されます。

SMART TIMERを使う

SMART TIMER（スマートタイマー）を使うと、指定した明るさで照明をつけたり、毎朝目覚まし時計代わりにお気に入りの音楽を再生したりできます。
おやすみ時には、ベッドに入ったまま自動で照明を消したり、再生している音楽を停止したりすることもできます。

SMART TIMERでできること

オンタイマー	オフタイマー
• 指定した時刻に照明オン • 照明の明るさ設定 • 指定した時刻に接続機器の音楽再生 • 再生する曲目の指定 • 音量の指定	• 指定した時刻に照明をオフ • 指定した時刻に電源をオフ

SMART TIMERを設定する

SMART TIMERの設定は「DTA CONTROLLER（ディーティーエーコントローラー）」（☞ P.7）をインストールしたスマートフォンやタブレットで行います。

1 **接続機器を*Bluetooth*（ブルートゥース）接続する（☞ P.9、10）。**

2 **「DTA CONTROLLER」を起動し、SMART TIMERの設定をする。**

3 **「DTA CONTROLLER」でSMART TIMERと本機を同期する。**

- 「DTA CONTROLLER」でSMART TIMERを設定/変更したときは、必ず本機と同期してください。



仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

- 指定した時刻に*Bluetooth*接続で音楽の再生を行う場合は、スマートフォンやタブレットの*Bluetooth*機能をオンにしておく必要があります。
  iPhoneの場合は、「DTA CONTROLLER」をマルチタスク画面から削除しないでください。
- タイマー設定時刻に他の機器が接続されていると、音楽は再生されません。タイマー設定時刻になる前に他の機器との接続を切断してください。

- SMART TIMERのオンタイマーとオフタイマー機能のオン/オフは、「DTA CONTROLLER」からのみ設定できます。

内蔵時計について

- 本機は接続機器と *Bluetooth* 接続したときに、「DTA CONTROLLER」から本機の内蔵時計に時刻をコピーします。SMART TIMERの時刻も本機の時計に合わせて動作します。
- 電源コードを抜いて約24時間経過すると、時計情報がリセットされ、SMART TIMERもオフになります。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策
電源を入れてもすぐに切れる。 正常に動作しない。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。
	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本体前面の⏻を10 秒以上押して本機を再起動してください。
スピーカーから音が出ない。	音量が最小になっている。	音量を大きくしてください。
	電源がオフになっている。	本機の電源をオンにして再生しなおしてください。
	オートスタンバイ機能が働いた。	本機の電源をオンにしなおしてください（☞ P.7)。
電源および(または)照明が突然切れる。	オートスタンバイ機能が働いた。	本機の電源および（または）照明をオンにしなおしてください（☞ P.7)。
	SMART TIMERのオフタイマーが設定されている。	「DTA CONTROLLER」からオフタイマーの設定を確認してください。
電源や照明が突然オンになる。	SMART TIMERのオンタイマーが設定されている。	「DTA CONTROLLER」からオンタイマーの設定を確認してください。
SMART TIMERが動作しない。	本機への電力供給が24時間以上遮断され、本機の時計情報がリセットされた。	「DTA CONTROLLER」からSMART TIMERを設定し、本機と同期してください（☞ P.12)。
	「DTA CONTROLLER」からSMART TIMERを設定していない。	
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機とそれらの機器を離して設置してください。
リモコンで本機を操作できない。	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	操作範囲内からリモコンを操作してください（☞ P.6)。
	本機のリモコン信号受光部に直射日光や強い照明（インバーター蛍光灯など)があたっている。	照明または、本体の向きや置き場所を変えてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池と交換してください（☞ P.6)。
	リモコンと本機の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。

Bluetooth

症状	原因	対策
本機と接続機器がペアリングできない。	本機の電源がオフになっている。	本機の電源をオンにしてから、ペアリング操作をしてください（☞ P.9）。
	すでに他の*Bluetooth*機器と接続している。	接続中の機器をいったん切断してから、ペアリングしてください。
	距離が離れすぎている。	本機から10 m以内の位置で接続機器をペアリングしてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線LAN 機器など）がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。
	*Bluetooth*アダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。	パスキーが「0000」の*Bluetooth*アダプターなどの機器をご使用ください。
	接続機器がA2DP に対応していない。	A2DP に対応した機器とペアリングしてください。
*Bluetooth*接続ができない。	本機の電源がオフになっている。	本機の電源をオンにしてください。
	他の*Bluetooth*機器が接続されている。	現在接続中の*Bluetooth*機器をいったん切断してから、接続し直してください。
	接続機器の*Bluetooth*設定がオフになっている。	接続機器の*Bluetooth*設定をオンにしてください。
	ペアリング情報が消えた。	再度ペアリングを行ってください（☞ P.9）。 本機は最大8台の接続機器とペアリングできます。9台目の接続機器とのペアリングが成功すると、接続した日時がもっとも古い機器のペアリング情報が削除されます。
	本機が接続機器の*Bluetooth*機器リストに登録されていない。	再度ペアリングを行ってください（☞ P.9）。
音が出ない、または音が途切れる。	接続機器の音量が最小になっている。	接続機器の音量を上げてください。
	接続機器の出力切替が本機に設定されていない。	接続機器の出力切替を本機に設定してください。
	本機と接続機器との*Bluetooth*接続が切断された。	*Bluetooth*接続を再度行ってください（☞ P.10）。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線LAN 機器など）がそばにある。	本機を電磁波を発する機器から離して設置してください。
	本機と接続機器の距離が離れすぎている。	接続機器を本機から10 m以内に置いてください。

主な仕様

Bluetooth部

Bluetoothバージョン	Bluetooth Ver.2.1+EDR
サポートプロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
対応コーデック	SBC, AAC, aptX®
対応コンテンツ保護	SCMS-T
無線出力	Bluetooth Class 2
最大通信距離	10 m (障害物が無いこと)

AUX IN部

入力端子	3.5 mm ステレオミニジャック

アンプ/スピーカー部

最大出力	ウーファー 15 W (100 Hz, 10% THD) + ツィーター 15 W (10 kHz, 10% THD)

照明部（LED）※

寿命	(光束70%以下となるまで）約36,000時間
消費電力	(照明のみ点灯時）7 W

総合

電源電圧/周波数	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	電源オン時（音楽再生、照明点灯） 15 W
	電源オフ時 (照明/SMART TIMERオフ、Bluetooth未接続) 0.5 W以下
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	271 × 290 × 271 mm
質量	3.3 kg

仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

※ LED照明器具の光源の推定寿命は、36,000時間です。
光源寿命とは、点灯しなくなるまでの総点灯時間または全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
なお、36,000時間は、寿命を保証するものではありません。

Made for iPod iPhone iPad

「Made for iPod」、「Made for iPhone」、「Made for iPad」とは、それぞれiPod、iPhoneまたはiPad専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。

アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。

本機をiPod、iPhone またはiPad と使用する場合、無線通信の性能に影響する場合があります。

iPad、iPhone、iPod、iPod touchは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。

iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

© 2013 CSR plc and its group companies.

aptX®およびロゴマークはCSR社またはそのグループ会社の商標または各国の登録商標です。

Android™

AndroidおよびGoogle Playは、Google Inc.の商標です。

高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「〜しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠**警告**	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠**注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠警告

電源/電源コード



電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- **異常なにおいや音がする。**
- **煙が出る。**
- **内部に水や異物が混入した。**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



電源コードを傷つけない。
- **重いものを上に載せない。**
- **ステープルで止めない。**
- **加工をしない。**
- **熱器具には近づけない。**
- **無理な力を加えない。**

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ずAC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



本機を完全に主電源から切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。
本体の⏻キーで電源をオフにしても、本機はまだ通電状態にあります。

電池



付属の電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置


水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。
- **浴室・台所・海岸・水辺**
- **加湿器を過度にきかせた部屋**
- **雨や雪、水がかかるところ**

水の混入により、火災や感電の原因になります。


禁止

放熱のため本機を設置する際には:
- **布やテーブルクロスをかけない。**
- **仰向けや横倒しには設置しない。**
- **通気性の悪い狭いところへは押し込まない。（本機の周囲に左右10cm、上15cm、背面10cm以上のスペースを確保する。）**

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。


必ず実行

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する。
本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。


禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

使用上のご注意


必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。


禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。


禁止

放熱用の通風孔やパネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。
火災や感電の原因になります。


禁止

LED光源を直視しない。
視覚に影響を及ぼすことがあります。

お手入れ


必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠注意

電源/電源コード


プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。


ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。


禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。


必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。


禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

電池


必ず実行

電池は極性表示（プラス＋とマイナス－）に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


必ず実行

電池は幼児の手の届かない所に保管する。
口に入れたりすると危険です。


禁止

指定以外の電池は使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


禁止

電池を加熱・分解したり、直射日光にさらしたり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


必ず実行

長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本機を損傷するおそれがあります。


必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外し、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

設置


禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。


禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。


禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。


必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

移動


プラグを抜く

移動をするときには電源をオフにして、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上のご注意


必ず実行

再生の前には、音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。


禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。


注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。


必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。


注意

ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置する。
色むらが起きることがあります。

お手入れ


必ず実行

お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。


禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

LED光源について

- LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- LED光源ユニットは、通常のランプのようにお客様自身での交換はできません。

Bluetooth について

- *Bluetooth*とは、無許可で使用可能な2.4 GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- *Bluetooth*は、*Bluetooth* SIGの登録商標でありヤマハはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

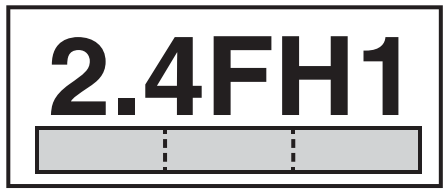
- *Bluetooth*対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。*Bluetooth*対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべての*Bluetooth*機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

対応コーデックについて

- 本機はaptX® コーデックに対応していますが、接続する機器によっては、ワンセグなどの音声が再生できない場合があります。その場合は接続機器のaptX設定をオフにして、接続し直してください。

製品ラベルは本体の底面に掲示してあります。

本機の無線方式について



「2.4」..... 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH」..... 変調方式は周波数ホッピング（FH-SS 方式）
「1」..... 想定干渉距離が10 m以内



..... 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター
オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通） 0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付:月～金曜日 10:00～18:00　土曜日 10:00～17:00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

■ ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通） 0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付:月～金曜日 9:00～18:00　土曜日 9:00～17:00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、北陸地域にお住まいのお客様
(06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口
受付:月～金曜日 9:00～17:45
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター
〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● **保証期間**
製品に添付されている保証書をご覧ください。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

〒430-8650　浜松市中区中沢町10-1

ヤマハ株式会社

© 2014 Yamaha Corporation

Printed in China　ZN46680